

夢がある。
技術がある。
未**来**ができる。

OKURA REPORT

第101期 中間株主通信

2020年1月1日～2020年6月30日



大倉工業株式会社

証券コード 4221

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り
厚くお礼申し上げます。

「中間株主通信」を皆様にお届けするにあたり、
一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が本格化し、海外の経済活動が急減速したことを受けて、輸出の減少や部材調達の遅延が起こったことや、国内においても外出・営業自粛などにより、経済環境が急激に悪化いたしました。また、経済活動の再開に伴う改善が期待されるものの、新型コロナウイルス感染の再拡大への懸念などから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

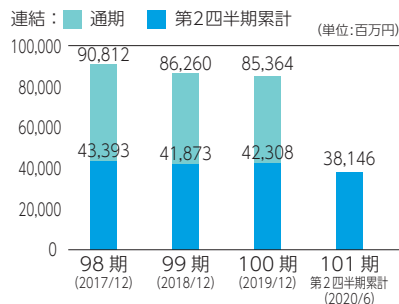
このような状況のもと、当社グループでは、新規材料事業やホテル事業を中心にほぼ全ての事業において新型コロナウイルス感染拡大による市場縮小の影響を受けたことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は381億4千6百万円(前年同四半期比9.8%減)となりました。

利益面では、合成樹脂事業においては変動コストが低位で推移したものの、新規材料事業をはじめとした大半の事業において売上高が減少したことなどにより、営業利益は20億2千1百万円(前年同四半期比6.3%減)、経常利益は21億2千9百万円(前年同四半期比3.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間のような特段の特別利益の計上がなかったことに加えて、投資有価証券評価損の計上などにより、13億8千3百万円(前年同四半期比28.7%減)となりました。

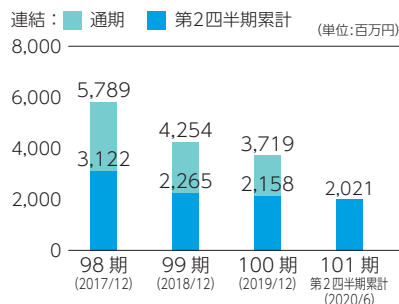
新型コロナウイルスの感染拡大が日本経済へ深刻な影響を及ぼしていますが、当社グループでは、この事態に的確な施策を講じながら対処していく所存ですので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月

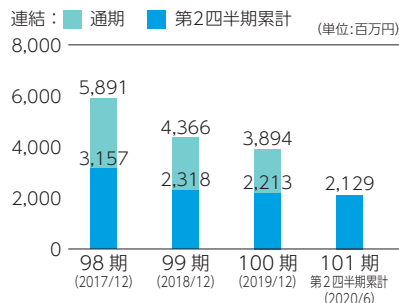
売上高の推移



営業利益の推移

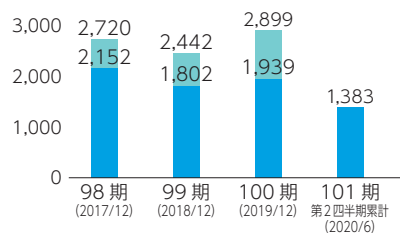


経常利益の推移



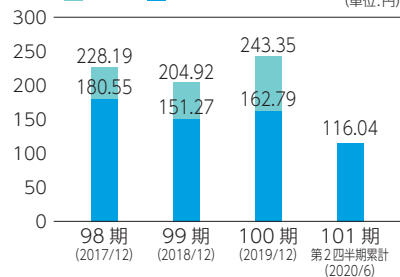
親会社株主に帰属する純利益の推移

連結：■ 通期 ■ 第2四半期累計 (単位:百万円)



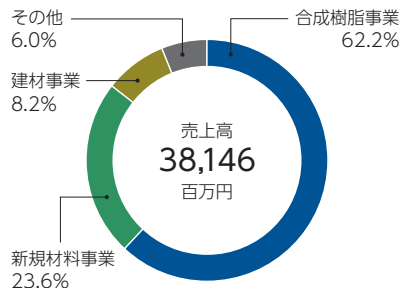
1株当たりの純利益の推移

連結：■ 通期 ■ 第2四半期累計 (単位:円)



(注) 2018年7月1日を効力発生日にして普通株式5株につき1株割合で株式併合を実施しております。このため98期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純利益を算出しております。

事業別第2四半期累計売上高構成比(連結)



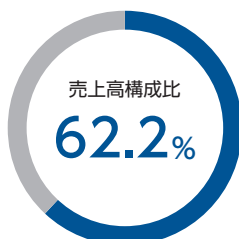
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



代表取締役
社長執行役員
神田 進

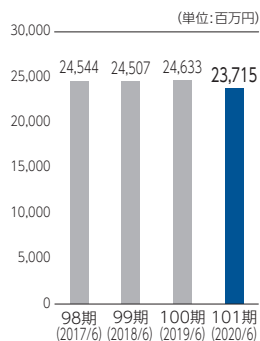
第2四半期累計期間事業別概況(連結)

合成樹脂事業

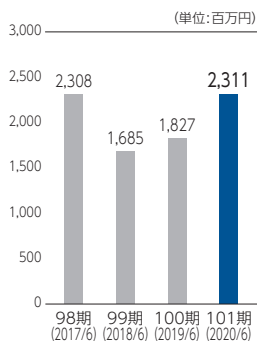


カップ麺や飲料用のシュリンクフィルムや衛生材料向け詰替え用パウチ袋が堅調に推移したものの、消費増税及び新型コロナウイルス感染拡大による市況の悪化の影響を受けた建材用途フィルムや一般包装用フィルムの販売数量が減少し、売上高は237億1千5百万円(前年同四半期比3.7%減)となりました。一方、営業利益は、原料構成により変動コストが低位で推移したことや付加価値の高い製品の販売数量増加などにより、23億1千1百万円(前年同四半期比26.5%増)となりました。

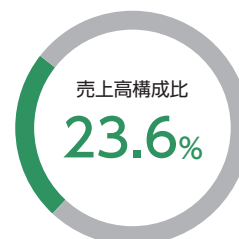
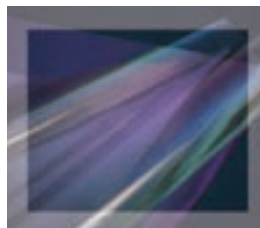
売上高の推移



営業利益の推移

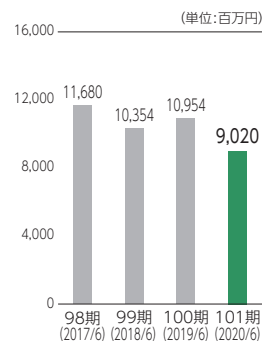


新規材料事業

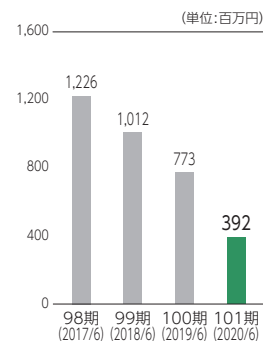


新型コロナウイルス感染拡大により国内外の様々な市場が縮小した中、光学フィルム製品や自動車関連製品で大きな影響を受けたことなどにより、売上高は90億2千万円(前年同四半期比17.7%減)となりました。営業利益は売上高の減少に加え、光学フィルム製品のうち比較的利益率の高い製品の販売が減少したことにより、3億9千2百万円(前年同四半期比49.3%減)となりました。

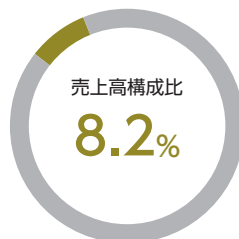
売上高の推移



営業利益の推移

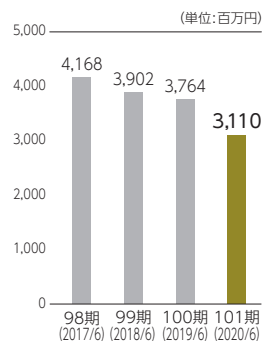


建材事業

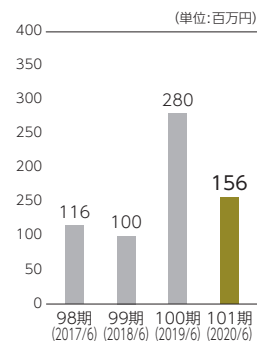


消費増税による需要減及び新型コロナウイルス感染拡大で部材調達が難航したことなどにより、新設住宅着工戸数が減少しております。その影響によりフロア関連向けパーティクルボードの販売数量の減少が続いていることや、上半期において転売商品の販売を段階的に終了したこと、前年6月に南洋材合板化粧板等の規格品販売を終了したことにより、売上高は31億1千万円(前年同四半期比17.4%減)となりました。営業利益は売上高の減少などにより、1億5千6百万円(前年同四半期比44.2%減)となりました。

売上高の推移



営業利益の推移

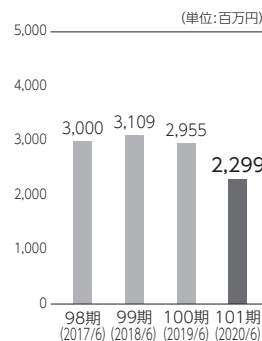


その他

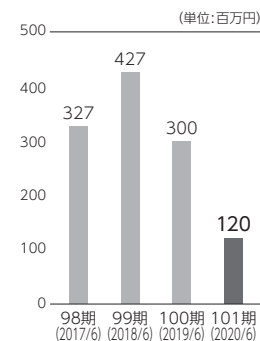


ホテル事業において新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛の影響などを受け、宿泊及び宴会などの著しい減少が続いていることや、前年3月にオークラホテル高松の営業を終了したことなどにより、その他全体の売上高は22億9千9百万円(前年同四半期比22.2%減)となりました。営業利益は売上高の減少などにより、1億2千万円(前年同四半期比59.9%減)となりました。

売上高の推移



営業利益の推移



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

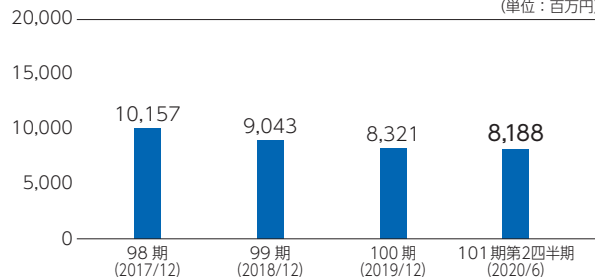
(単位: 百万円)

科 目	100期末 2019年12月31日現在	101期第2四半期末 2020年6月30日現在
資産の部		
流動資産	42,561	39,970
現金及び預金	7,605	7,429
受取手形及び売掛金	21,527	18,551
電子記録債権	3,916	4,080
商品及び製品	4,559	4,661
仕掛品	988	873
原材料及び貯蔵品	3,070	3,761
販売用不動産	235	221
その他	657	389
貸倒引当金	△0	△0
固定資産	40,920	39,637
有形固定資産	30,992	30,288
建物及び構築物	13,819	13,700
機械装置及び運搬具	9,120	8,649
土地	5,994	5,994
建設仮勘定	1,528	1,431
その他	528	511
無形固定資産	684	743
投資その他の資産	9,242	8,605
投資有価証券	7,787	7,005
繰延税金資産	852	996
その他	604	602
貸倒引当金	△1	—
資産合計	83,481	79,607

科 目	100期末 2019年12月31日現在	101期第2四半期末 2020年6月30日現在
負債の部		
流動負債	30,756	26,593
支払手形及び買掛金	15,571	12,772
短期借入金	5,386	5,506
1年内返済予定の長期借入金	1,283	1,018
未払金	4,057	3,231
未払法人税等	226	498
その他	4,231	3,565
固定負債	6,282	6,338
長期借入金	1,650	1,663
繰延税金負債	12	14
退職給付に係る負債	3,688	3,719
その他	930	940
負債合計	37,039	32,931
純資産の部		
株主資本	44,053	44,794
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	27,230	27,956
自己株式	△864	△849
その他の包括利益累計額	2,373	1,864
その他有価証券評価差額金	2,326	1,799
為替換算調整勘定	158	151
退職給付に係る調整累計額	△110	△86
非支配株主持分	14	16
純資産合計	46,441	46,676
負債純資産合計	83,481	79,607

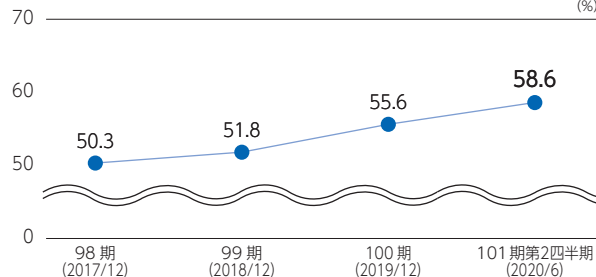
実質借入金の推移

(単位: 百万円)



自己資本比率の推移

(%)



連結損益計算書の要旨

(単位: 百万円)

科 目	100期第2四半期(累計) 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	101期第2四半期(累計) 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
売上高	42,308	38,146
売上原価	35,428	31,680
売上総利益	6,880	6,466
販売費及び一般管理費	4,721	4,445
営業利益	2,158	2,021
営業外収益	144	210
受取利息・配当金	89	105
助成金収入	0	54
雑収入	54	50
営業外費用	89	102
支払利息	59	53
為替差損	14	13
雑損失	15	35
経常利益	2,213	2,129
特別利益	191	0
固定資産売却益	191	0
特別損失	50	164
固定資産除売却損	50	69
投資有価証券評価損	—	59
臨時休業による損失	—	35
税金等調整前四半期純利益	2,354	1,965
法人税、住民税及び事業税	195	532
法人税等調整額	217	47
法人税等合計	413	579
四半期純利益	1,941	1,385
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,939	1,383

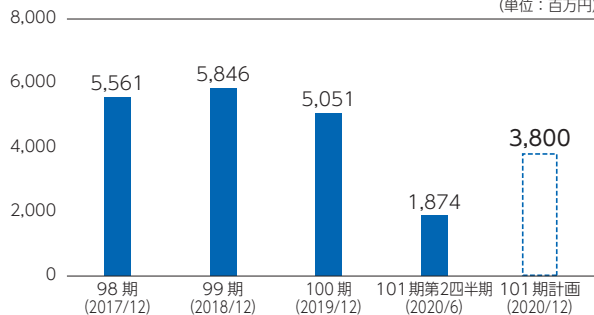
連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 百万円)

科 目	100期第2四半期(累計) 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	101期第2四半期(累計) 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,022	2,993
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,119	△2,374
財務活動による キャッシュ・フロー	△417	△785
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△4	△9
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△519	△175
現金及び現金同等物の 期首残高	7,431	7,605
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,911	7,429

設備投資(工事ベース)の推移

(単位: 百万円)



(注) キャッシュ・フロー計算書は支払ベースで記載するのに対し、
本グラフは工事ベースで表示しております。

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

製品紹介

当社は各種の農業用フィルムをラインアップしており、収穫量の拡大や農作業の負担軽減に貢献してきました。この度、3種類の新たな農業用フィルム製品を開発しました。機能性の向上や環境に配慮した新製品をご紹介します。

暖地郎

保温性、流滴性を有した機能性トンネル用フィルムです。従来、農家の方々は、単層構造の一般マルチをトンネル用として利用していましたが、トンネル内に結露が発生し、作物の生育を阻害するという事例もありました。この様なニーズにお応えし、保温剤添加層と流滴剤添加層の積層により両方の性能を有したポリエチレン製のトンネル用フィルムを開発致しました。



省之助

薄さにこだわり、長尺を実現した環境負荷低減型マルチです。薄膜なため、単位面積当たりのフィルム使用重量を減らし、廃棄重量を削減できます。1,000m巻きが可能となり、マルチ切替作業も省力化できます。さらに、長さ方向への強度が高いため、マルチャー機での展張も安心です。省力化、生育補助に秀でた新製品です。



エコロームこかげ

夏場に活躍する当社の「こかげマルチ®」を特殊な原料で生産した生分解性マルチです。赤外線を反射する乳白色層により、日中の地温上昇を抑制・黒色層で太陽光を遮断・雑草防除機能を有します。今回新たに、生分解性にしたことで土中に潜む微生物により分解が促され、最終的に水と二酸化炭素に戻ります。環境に配慮し、処分費用もかかりません。



DEOとりす®

アンモニアやトリメチルアミンなどの臭気を化学的に脱臭する袋です。ペット用のごみ袋を「におい取り袋」、釣り用の持ち帰り袋を「JIGGY BAG」としてAmazonで販売しています。



Amazonサイトアドレス



ペットの使用済みの紙おむつ・シートを廃棄する際のごみ袋です。ペットの高齢化が進み、介護用おむつが多く使用されていますが、使用後ににおいが気になる際にこのごみ袋に入れると、化学的に脱臭されます。Sサイズはカントリー調のハート柄といぬねこ柄のパッケージがあります。LLロングサイズはカントリー調の星柄といぬねこ柄のパッケージです。袋の色はSサイズがベビーピンク・LLロングサイズはシルバーで外から見えにくい仕様です。



JIGGY BAG

釣った大型の魚をクーラーボックスやバッグに入れて持ち帰る際の袋です。脱臭剤配合により、特にトリメチルアミン(魚の生臭い臭い)を化学的に脱臭します。食品に触れても安全な材料を使用しています。クーラーボックスを持たないときも、取手付の結束バンドで縛れば、大型の魚を簡単に持ち歩けます。



新型コロナウイルス感染症による肺炎などでお亡くなりになった皆様に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。また、感染拡大防止と治療に尽力されている医療関係者をはじめとする多くの方々に衷心より敬意を表します。当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大予防の一助になる活動を、今後も政府や自治体とも連携を図りながら続けてまいります。

医療用プラスチックガウン 代替品(セパレートタイプ)を 厚生労働省に納品

当社グループは、この度新型コロナウイルス感染拡大に伴い医療従事者が着用する医療用ガウン不足への対応として、医療用プラスチックガウン代替品(セパレートタイプ)40万枚を厚生労働省に納品いたしました。セパレートタイプのため、着脱が容易で袖に親指をかける穴があるフックタイプのため袖がずれ上がってくることもありません。

使い捨て式で医療従事者の方の感染リスク低減が期待され、安心して使用していただけます。



着用イメージ

マスク取付け型 簡易フェイスシールドを開発

新型コロナウイルスの飛沫感染を予防するため、合成樹脂事業部でマスクのひもを通すだけで簡単に装着できる簡易フェイスシールドを開発しました。顔全面をカバーすることができ、使い捨てのため衛生的です。従来のフェイスシールドは、頭部のバンドやメガネで装着していましたが、この製品はマスクに装着できるので、シールドに触らずマスクごと外して廃棄することができます。フィルムのみでできているので、軽量でごみもかさばりません。Amazonにて100枚入りを販売しています。



材質:PP 厚さ:0.06mm



装着イメージ

8月18日に医療機関・介護施設用として上記医療用プラスチックガウン代替品(セパレートタイプ)1,000枚及び簡易フェイスシールド40,000枚と、当社製の簡易マスク20,000枚を丸亀市に寄贈いたしました。

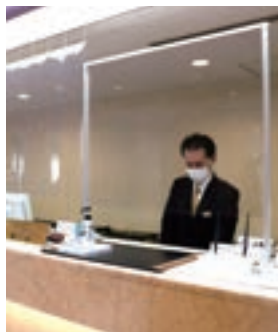
オークラホテルの 安全安心への取り組み

オークラホテルでは、お客様の安全と安心を第一に考え、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、様々な対策に取り組んでいます。館内入口や各レストランの入口など至る所にアルコール消毒液を配置し、フロントカウンターには飛沫防止のためのシートを設置しております。また、レストランや宴会場では通常清掃に加え、特に手が触れる箇所(エレベーターのボタン・メニュー・テーブル・イス・マイク等)は利用ごとに消毒を実施しています。

オークラホテルでは、お客様に安心してお過ごしいただけるよう国の方針・自治体の指導等に基づき、これからも新型コロナウイルス感染防止に努めてまいります。



アルコール消毒



飛沫防止シートの設置

第27回 芦原科学賞 贈呈式の開催

第100期の株主通信にて株主の皆様にお知らせしました、当社のトレイガスパック用シュリンクフィルム(製品名「エコラップ®BSS-V2」)に関する発明の(公財)かがわ産業支援財団主催第27回芦原科学大賞の受賞に伴う贈呈式が2020年7月に開催されました。贈呈式では(公財)かがわ産業支援財団の大津理事長より賞状と楯を授与いただき、その様子を新聞や経済情報誌などの多くのメディアに取り上げていただきました。

この高い評価を励みにして、今後も当社グループは、製品やサービスを通じて社会課題に貢献する事業を展開してまいります。



用途例



エコラップ®原反



芦原科学賞大賞を受賞した
発明者3名(前列)

会社情報 / 株式情報

会社概要 (2020年6月30日現在)

社 名 大倉工業株式会社
設 立 1947年7月11日
資 本 金 8,619,616,071円

業務内容

- ・各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売
- ・光学機能性フィルム等の製造販売
- ・パーティクルボード及び加工ボード等、加工合板の製造販売

役員 (2020年6月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	高 濱 和 則
代表取締役社長執行役員	神 田 進
取 締 役 常 務 執 行 役 員	田 中 祥 友
取 締 役 執 行 役 員	上 原 英 幹
取 締 役 執 行 役 員	山 田 和 裕
取 締 役 執 行 役 員	植 田 智 生
※常 勤 監 査 等 委 員	櫻 井 茂 樹
※監 査 等 委 員	馬 場 俊 夫
※監 査 等 委 員	北 田 隆
※監 査 等 委 員	堀 内 真 二

※社外取締役

株主メモ

決 算 期	毎年12月31日
定 時 株 主 総 会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。) 剰余金の配当 期末配当 12月31日 中間配当を行う場合 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公 告 の 方 法	電子公告とし、当社ホームページ(https://www.okr-ind.co.jp)に掲載いたします。ただし電子公告によることができない事故やその他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部

夢がある。技術がある。 **未来** ができる。



大倉工業株式会社

本社 / 〒763-8508 香川県丸亀市中津町1515番地
TEL 0877-56-1111

株式の状況 (2020年6月30日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数 28,021,600株
発 行 済 株 式 の 総 数 12,414,870株
株 主 数 5,688名

大株主(上位10位) (2020年6月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	963千株	8.08%
株式会社中国銀行	582千株	4.88%
オークラ共栄会	550千株	4.62%
株式会社百十四銀行	384千株	3.22%
日本生命保険相互会社	375千株	3.15%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	327千株	2.75%
住友林業株式会社	315千株	2.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	273千株	2.29%
三井住友海上火災保険株式会社	271千株	2.28%
株式会社ヤクルト本社	251千株	2.11%

(注) 当社は自己株式490,966株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。